

放送日 令和5年1月4日(水)
担当者 市長 上野 正三

おはようございます。市長の上野正三です。みなさん、明けましておめでとうございます。

年未年始、ご家族の皆様とゆっくりされたことと思います。今年の正月は、穏やかな三が日となりました。今年1年が、穏やかな1年になるよう願ったところであります。

しかし、土木事務所、消防をはじめ、正月中にも勤務をされた職員もおられます。勤務された皆様方に心より感謝を申し上げます。

今年も、総合計画に基づき「自然と創造の調和した豊かな都市」というまちづくりのテーマのもと、ボールパーク構想や、駅西口周辺エリアの活性化をはじめ、各種施策を推進し、にぎわいと活力にあふれる輝くまち、そして何よりも市民の皆様が安全で安心して暮らせるまちづくりに、職員の皆様と一丸となって取り組んで参ります。

まちづくりの第一歩は、まちの歴史を知ることだと考えております。歴史を振り返りますと、今年、明治6年、中山久蔵翁が島松沢で寒地稲作(赤毛米)に成功し、150年の節目の年です。昨年、「赤毛米」が北海道遺産に登録されました。今、一番おいしいと言われているお米、「ゆめぴりか」のご先祖は赤毛米です。

また、139年前、一村創建のため原始の森に開拓に入った広島県人和田郁次郎翁ら25戸103人、先人は度重なる艱難辛苦を乗り越えて、現在の北広島の礎を築いてこられました。

皆様には、当市のキャッチコピーであります「アンビシャスシティ、大志をいただくまち」の職員として、何事にも挑戦する気持ちを忘れず、業務に当たっていただきたいと思っております。

さて、今年はいよいよ、Fビレッジ開業の年であります。3月30日には、新球場「エスコンフィールドHOKKAIDO」にてプロ野球公式戦も開幕いたします。このボールパーク構想は、市民の皆様をはじめ北海道民に夢と希望等を与えてくれ、北広島市、北海道の発展にも大きく貢献してくれるものであります。

Fビレッジの開業はゴールではありません。大学箱根駅伝に例えますと開業までは往路、まだ復路があります。職員の皆様も気を緩めず引き続き、復路のゴールに向けて、取り組んでいただきたいと思っております。

また、国内外から多くの方々がFビレッジを訪れてくれると思っております。皆様には今まで以上に笑顔と、おもてなしの気持ちを忘れず、公務に当たってください。

結びに、本年が、新型コロナウイルス感染症が収束し、皆様にとりましても、北広島市にとりましても、すばらしい年となりますことを心からお祈り申し上げ、仕事始めの挨拶とさせていただきます。

本年1年、よろしくお願いいたします。